



7/24～26 4年生サマーアドベンチャーin 吉和



何といっても圧巻は、沢登り。ライフジャケットを着てはいるものの、急流にもめげず、自分の力だけで目的地まで登りつくのは至難のわざ。教員と保護者の協力による入念な下見があればこそこの活動です。子どもたちにとって心身の鍛錬とともに、何年たっても忘れぬ感動体験は、珠玉の思い出となります。

ハチマ

ハチマは、インド原産のウリ科の植物です。江戸時代から栽培されていたそうです。4年生が理科の学習で大事に育てています。

9月の生活目標

- 体を鍛えよう
- まわりの人を思いやろう

夏休み期間に様々な体験活動が行われました。5、6年生20名によるニュージーランドホームステイ、1～3年生自然体験宿泊学習、4年生サマーアドベンチャー。1年生は、残念ながら台風のため中止。

10月にデイキャンプをします。1年生は、前日の登校日に残念なお知らせをしましたが、「これから水鳥の浜公園に虫取りに行くよ。」と先生に言われ、気持ちを切り替えて出かけました。たくさんの虫に出会い大喜び。なぎさっ子は、自然が大好き。どんな状況でも楽しみを見つけることができます。

文部科学省の「体験活動の意義」『体験活動事例集―体験のススメ』によると、自然体験の多い子どもにも道徳観・正義感のある子どもが多いことや体験の後、勉強にやる気がでた子どもが増えるとの調査結果もあるほどです。なぎさっ子の人間力は、本物の自然体験や社会体験の中で育まれます。体験から受け取った感動は、溢れるように堰切って伝える力になるのです。

8/26～27 2年生自然体験宿泊学習 in 八千代



日常の遊びでは体験できない冒険心をかきたてられる八千代の森。大きなアスレチックの森を駆け回る子どもたちが、思わず時間が過ぎてつぶやく言葉は、「あ～楽しかった。もうちょっと遊びたい。」でした。そこは、自分たちで時計を見ながら、時間にそって活動する2年生。名残惜しそうな様子で、次の活動へと急ぎます。次はもっとワクワクする楽しみが待っていると知っているからこそのふるまいです。

8/27～28 3年生自然体験宿泊学習 in なぎさ

自然体験宿泊学習も3年目を経験する子どもたちにとって、自分たちで何でもやりきることは、当たりまえのこと。学校の芝生は、緑色に輝き、子どもたちのやる気と本気に火をつけます。

仲間と力を合わせて、悪戦苦闘のテントをはり、ゴム動力飛行機コンテスト、水中ゲーム大会、クライマックスは、胆だめし。何やらあやしい雰囲気です。



グランドのテントの中での寝ごころは、どうだったかな？

7/30～8/10 ニュージーランドホームステイ

ニュージーランドへのホームステイも第3回目。1年生から英語を学ぶなぎさっ子にとって言葉の壁は、年々低くなってきました。1週間の現地校での授業は、充実しています。

一人一家庭にホームステイするので、必要に迫られて英語の力を駆使するようになるのは、当然の成り行きです。この笑顔、すっかりニュージーランドの子ども（キウィキッズ）になりました。

なぎさ公園小学校のことを紹介したり、8月6日の広島の日には、先輩の被爆ピアノ演奏をライブでとどけたりして一緒に平和への祈りを捧げました。



